歴史寫眞

大正二年創刊
第參百四拾六號
昭和十七年三月號

大東亞解放篇

ニューアイルランド島のハファ族と交驩する皇軍勇士
（海軍省檢閲濟乙第十七號四一〇）

歴史寫眞第參百四拾六號
昭和十七年二月二十五日印刷納本 大正二年十二月一日第三種郵便物認可
昭和十七年三月一日發行（毎月一回一日發行）

本號概要

大東亞戰爭戰暦

（自一月十六日至二月十五日）

◆一月◆

（十六日）マレー方面に於て我陸鷲敵機二十三機を屠り、海鷲亦シンガポールに於て敵機十一機を撃墜す。

（十七日）皇軍ビルマ領に侵入、タボイを攻略す。

（十八日）日獨伊三國間に新軍事協定成立す。

（十九日）磯谷廉介中將香港總督に親補せらる。

（二十日）マレー半島ジョホール州の敵は逐次總崩れとなり、我軍是を壓縮すること愈々急なり。

（廿一日）我海鷲、濠洲委任統治領ビスマルク群島を空爆す。

（廿二日）皇軍ビルマのコーカレツクを占領す。

（廿三日）ニューブリテイン島ラバウル及びニューアイルランド島カビエングの敵前上陸に成功す。

（廿四日）ボルネオ島のバリツクパパン及びセレベス島のケンダリイに敵前上陸、又英領ボルネオのダワオを占領す。

（廿五日）ボルネオのバリツクパパンを完全占領す。

（廿六日）セレベス島のケンダリイを完全占領す

（廿七日）英領ボルネオ島の北端バマンカツト附近に上陸す。

（廿八日）マレー半島ジョホール州に進撃したる皇軍着々戰果を擴大す

（廿九日）マレー半島エンダウ沖に於て日英驅逐艦の大會戰あり、忽ちその一艦を撃沈す。

（三十日）我が精鋭部隊は、ジョホール・バル北方の敵據點クライの猛攻撃を開始す。

（卅一日）シンガポール對岸ジョホール・バルを占領し、全マレー半島を制壓、又ビルマ領モールメンを完全に占領す。

◆二月◆

（一日）マーシャル群島方面に出現したる敵ゲリラ艦隊を反撃、是に大損害を與へて撃退す。

（二日）ビルマ進撃中の我軍はサルウイン河の渡河に成功す。

（三日）我海鷲、蘭領ジャバ島のスラバヤ、マランを大空襲し、敵機八十五機を撃墜破す。

（四日）我海鷲はジャバ沖海戰に於て敵艦隊主力巡洋艦二隻を撃沈、三隻を撃破し、米蘭印聯合艦隊主力を全滅す。

（五日）我海鷲は蘭印スラバヤを猛襲し、蘭機十五機、米機十一機、其他八機、合計三十四機を撃墜破す。

（六日）我荒鷲は蘭印バンカ島の要衝モントリ飛行場を急襲し、一擧に敵機二十八機を撃墜破す。

（七日）我陸鷲は蘭印スマトラ島パレンバン飛行場其他を強襲して敵機六十七機を屠る。

（八日）マレー半島最南端ジョホール・バル附近の我軍は、深更に至つてシンガポール總攻撃を開始す。

（九日）午前零時十六分、我が決死隊はジョホール水道の敵前渡過に成功し、ジョホール島に上陸、着々シンガポール島に上陸、愈々戰果を擴大す。

（十日）ビルマ、サルウイン河右岸の要衝マルタバンを完全占領す。

（十一日）シンガポール總攻撃の我軍は、本日紀元の佳節を迎へ一氣に同市の一角に突入す。

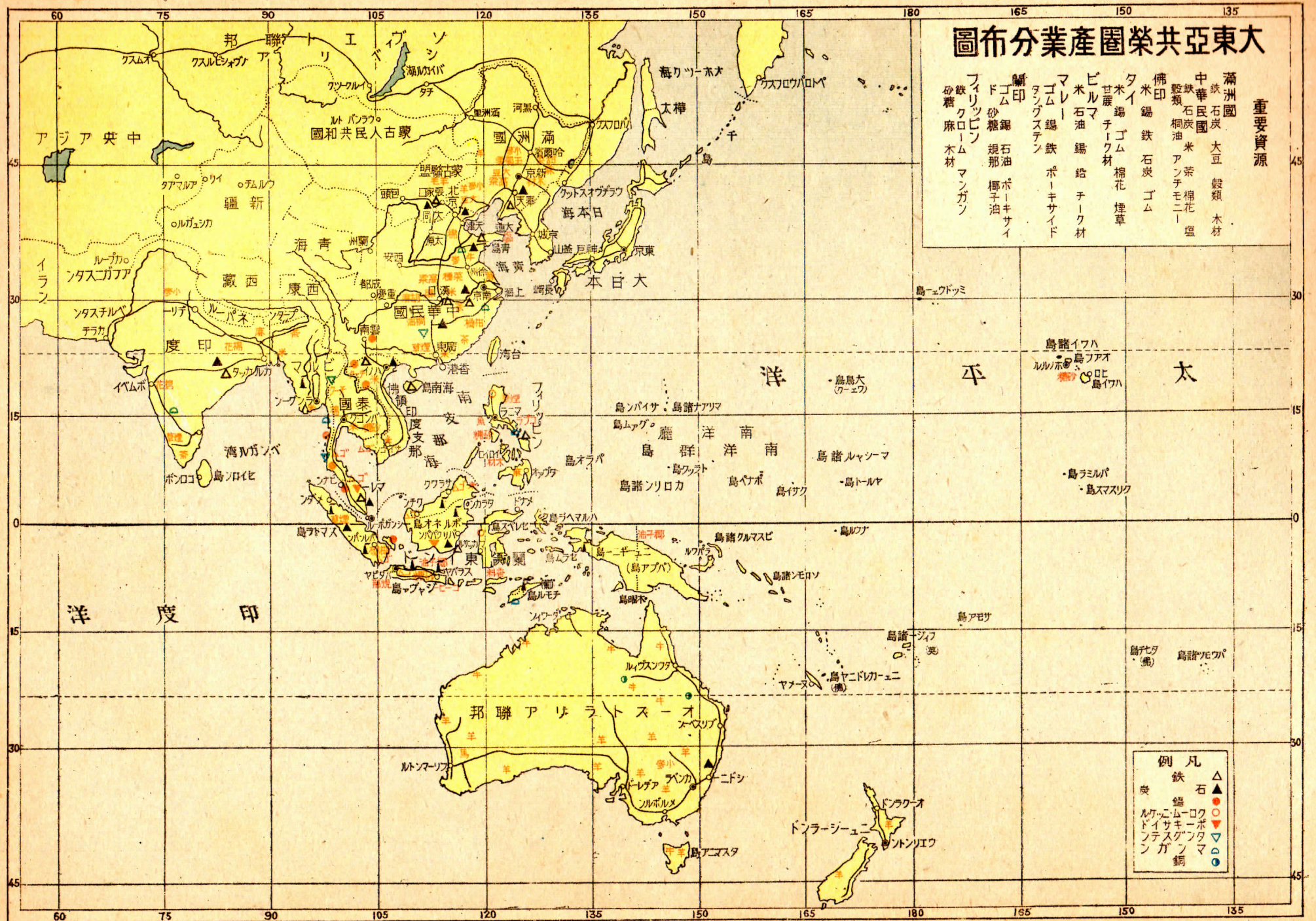
（十二日）我陸鷲は、シンガポールより脱走を企つる敵の大船團を猛襲し、一萬噸級輸送船合計十三隻を撃沈破す。

（十三日）我が陸鷲は蘭印スマトラ南部の要衝パレンバンを攻撃し、敵機九機を撃墜破す。

（十四日）新嘉坡のセレター軍港を占領す。

（十五日）シンガポール遂に陥落す

大東亞共榮圈産業分布圖
重要資源
滿洲國 鉄 石炭 大豆 穀類 木材
中華民國 鉄 石炭 米 茶 棉花 塩 穀類 桐油 アンチモニー
佛印 米 錫 鉄 石炭 ゴム
タイ 米 錫 ゴム 棉花 煙草 甘蔗 チーク材
ビルマ 米 石油 錫 鉛 チーク材
マレー ゴム 錫 鉄 ボーキサイド タングステン
蘭印 ゴム 錫 石油 ボーキサイ ド 砂糖 規那 椰子油
フィリッピン 鉄 クローム マンガン 砂糖 麻 木材
凡例
鉄
石炭
錫
クローム・ニッケル
ボーキサイド
タングステン
マンガン
銅
大日本
滿洲國
中華民國
蒙古人民共和國
ソヴィエト聯邦
太平洋
印度洋
オーストラリア聯邦

南方圏資源一覧

皇軍活躍中の南方圏に於ける鑛産農産等の資源に關し、去る一月二十四日周東企畫院第四部長は、南方開發金庫法案委員會に於て大要左の如く公表した

比島

鐵鑛石 一九三九年、七十萬一千トンの産出高であるが、その大部分は對日輸出、鑛山としては埋藏量多く、開發は今後に期待出來る。

クローム鑛 一九三九年、十萬二千トンの輸出のうち、五萬四千トンは米國へ輸出された。埋藏量一千萬トン、世界一といはれ今後の開發に期待される。

銅鑛 南方圏には銅資源は甚だ少い、比島には約五百萬トンの埋藏量がある。

マンガン 一九三八年、四萬九千トンの輸出高であるが、その大部分は對日輸出である。

マニラ麻 年約百五萬俵、このうち三分の一はダヴァオの邦人の作になる。世界の硬質纖維産額（五十三萬千五百トン）のうち、比島は約三割を占める。

コプラ 一九三八年、約八十萬トンの産出、大部分は米國へ輸出される。

マレー

錫 一九三九年、八萬二千トン、西部ではキンタ、セランゴール、東部ではパハン、ジョホール等に産出される。精錬はシンガポールで行ふ。輸出先は一九三九年、米國へ五萬六千トン。

鐵鑛石 一九三九年、十九萬四千トン、戰前は主として日本へ輸出された。

ゴム 一九三九年、四十六萬一千トン、世界産額の約五割、その三分二が米國へ輸出されてゐた。

蘭印

ボーキサイト 年産廿三萬トン、うち日本へ十九萬七千トンほど輸出されてゐた。ビンタン島の埋藏量は三千萬トンといはれる。

鐵鑛石 その埋藏量はボルネオが約二億五千萬トン、セレベスが七億トン、スマトラが一千萬トンといはれ、今後の開發に期待される。

石油 一九三九年、八百萬トンの産出量

石炭 一九三九年、スマトラ百廿二萬トン、ボルネオ五十五萬トン、合計百七十八萬トン、從來は地場の焚料にすぎないが、埋藏量は二億トンといはれる、今後の開發に期待される。

玉蜀黍 年産百九十萬トン。

コプラ 一九三九年、八十二萬トン、パーム油として廿二萬七千トン。

キナ皮 一九三八年、ジャワ一萬五百九トン、スマトラ六百七十九トン、合計一萬一千百八十萬トン、このうち三分の一がオランダ本國へ、三分の一が米、獨へ、三分の一は蘭印でキニーネとなる。

砂糖 一九三九年、百卅七萬トン。

ゴム 一九三九年、卅二萬二千トン。

ビルマ

タングステン 一九三八年、五千廿七トン、このほか錫、タングステン鑛、六千百十トン。

銅鑛石 六千五百トン。

石油 年産百十四萬六千トン、品質は良好である。

米 年産四百六十四萬トン。

落花生 年産十八萬三千トン。

瞑目合掌！

（寫眞 陸軍省檢閲濟）

シンガポールを取るまではと、艱きつく猛暑を物ともせず、荊棘、道を蔽ふジャングルに、熱火の進撃を共にしてきた勇ましの戰友よ。而も敵の牙城を指呼の間に望みながら、武運つたなく護國の華と散つたあはれ痛ましの我友よ。——今しも獨りその新しきをくつきを訪れた勇士の感慨や奈何、固く結べる脣、さしのべて手向けするその逞しきかひなも、おのづと震へてゐるであらう。あゝ征旅既に五旬、酷暑に焦げた兩頬を、思はずハラ〳〵と走り落つる大粒の涙が、赭い大地に吸はれてゆく。——讀者よ、いざ共に瞑目合掌して、この三柱の英靈に深き感謝を捧げまつらん

煙幕を張つて密林中を猛進する鐵牛部隊

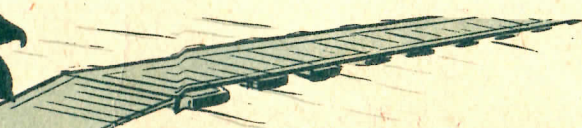
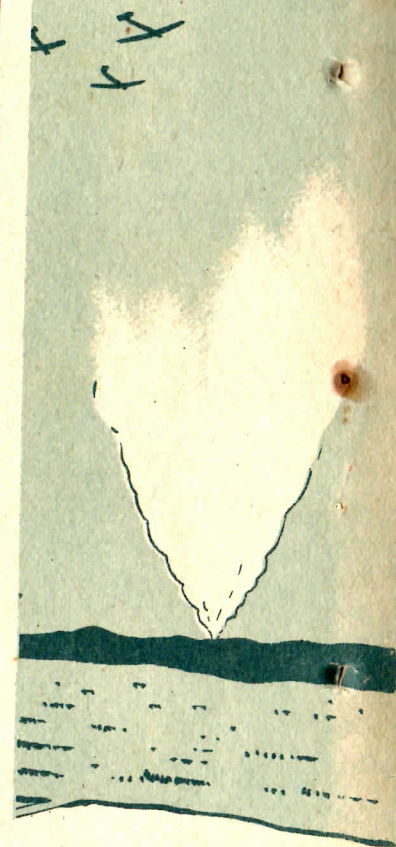
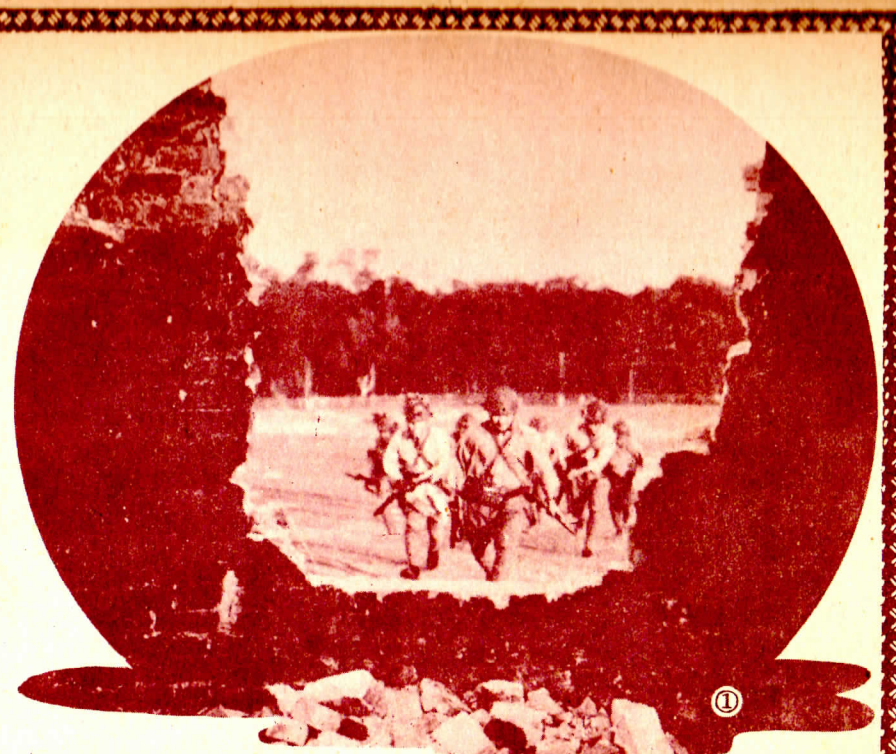
（マレー戰線にて）（陸軍省檢閲濟）

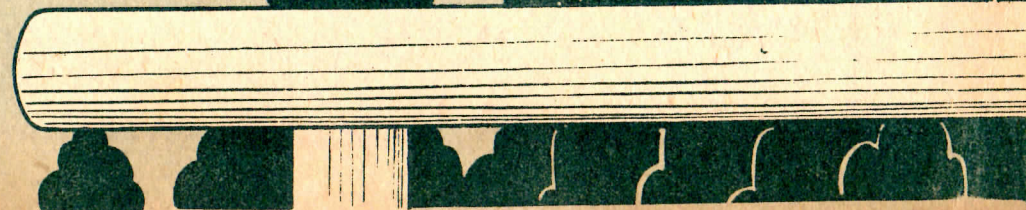
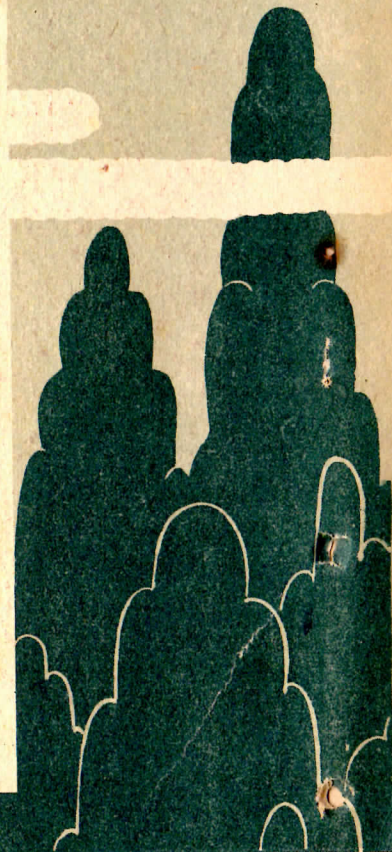
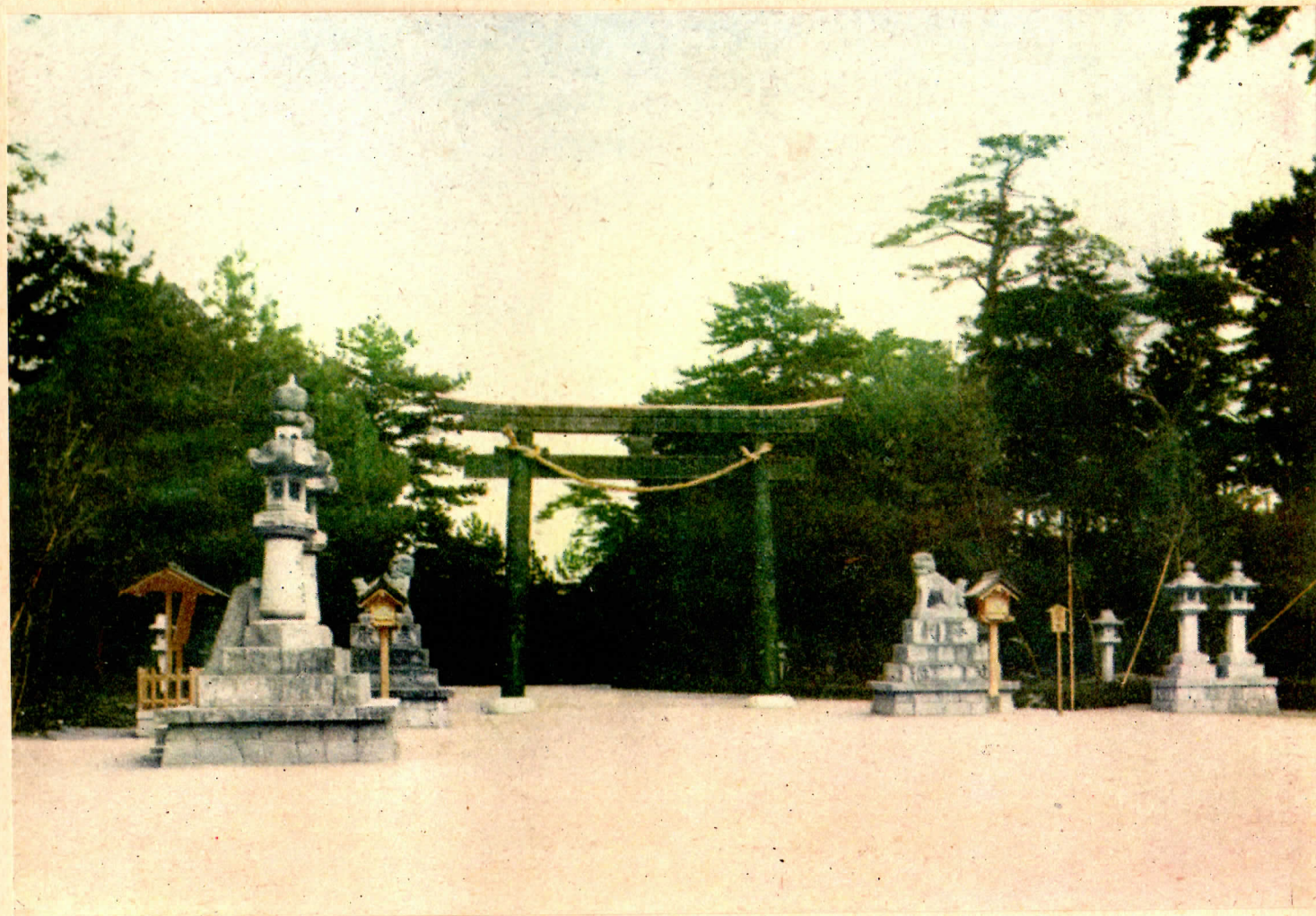
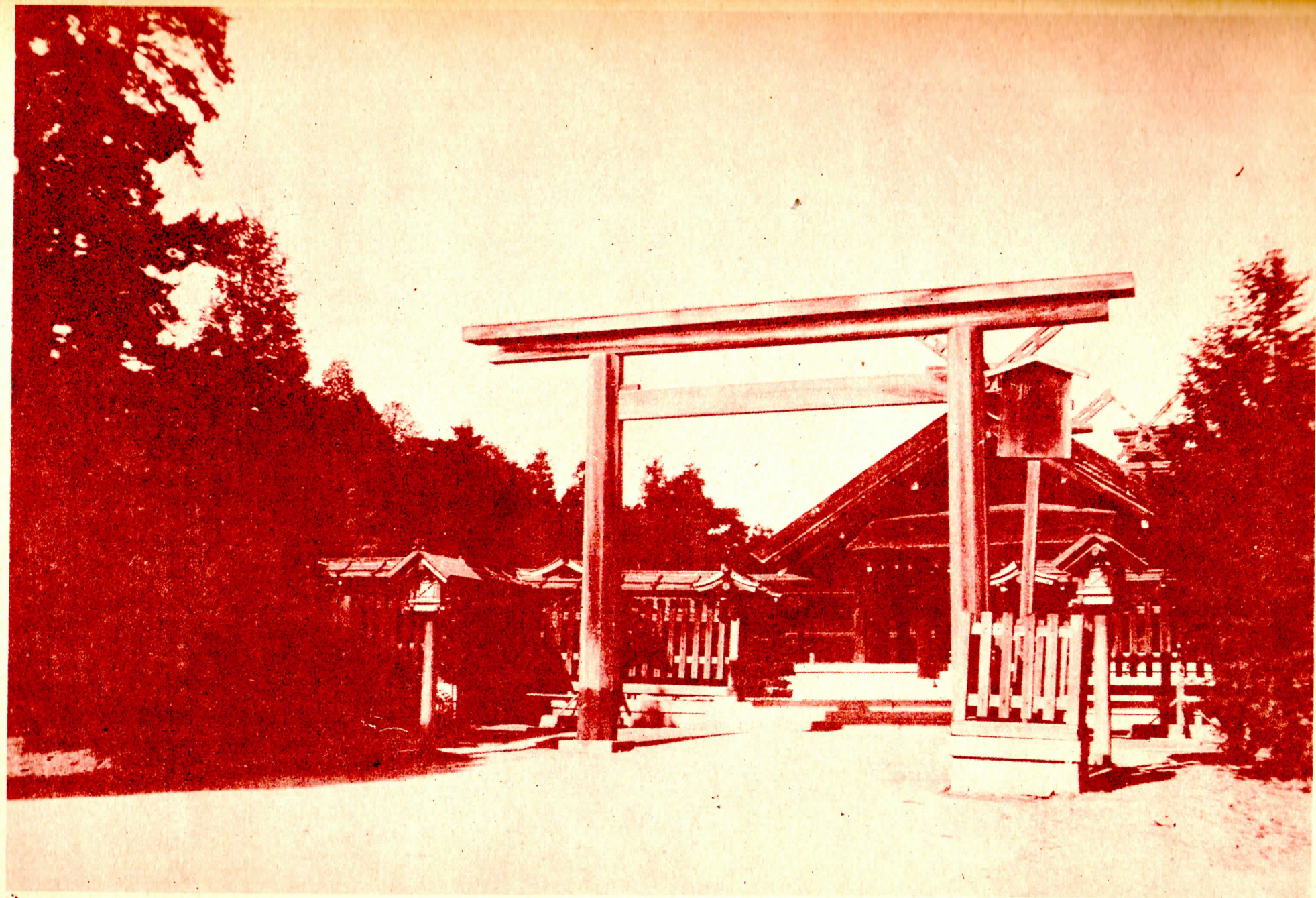
象も皇軍に協力して架橋作業

（ビルマ戰線タヴオイ北方イボ河に於て）

（陸軍省檢閲濟）

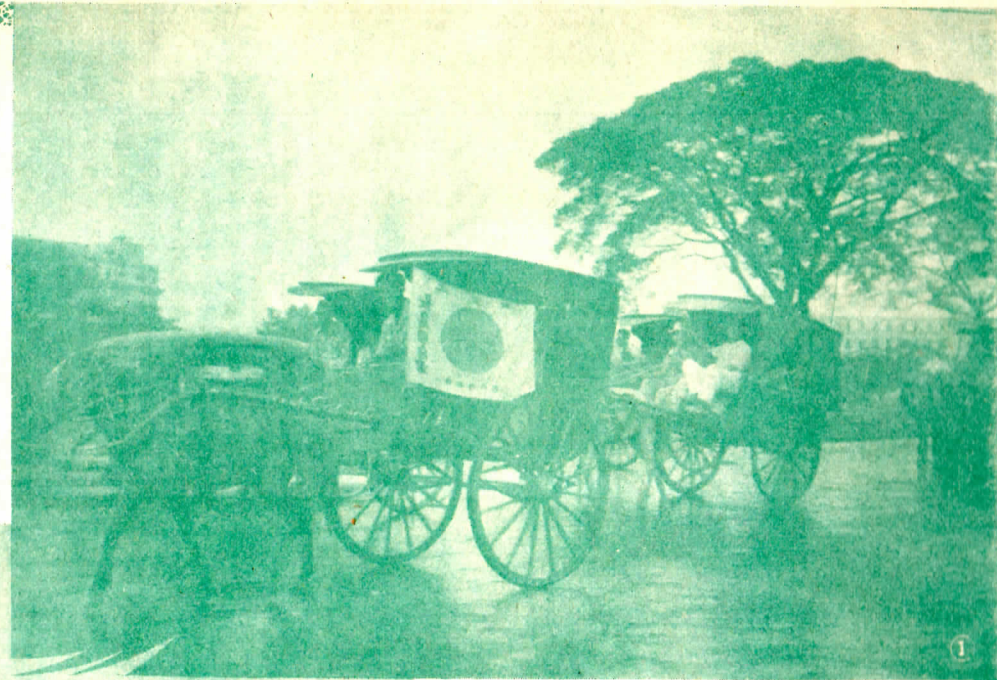
ビルマ戰線から

泰緬國境を突破してビルマに進撃したる皇軍は、早くもモールメイン、マルタバンの二大要衛を占領し一路首都ラングーン目指して猛進しつつある。寫眞①はマルタバンに突入する○○部隊②はモールメイン南驛の守備。③はビルマの高原地帶に活躍する皇軍勇士である。（以上寫眞 陸軍検閲濟）

◇◇◇ 敬神崇祖大社巡拜 ◇◇◇

官幣大社 大鳥神社

官幣大社大鳥神社御由來

大阪府泉北郡鳳町に鎭座する官幣大社大鳥神社は、大鳥連祖神を祀る神社で、日本武尊東夷御征伐の御歸途、伊勢能褒野に於て薨ぜさせ給ひし時、尊の大御魂は八尋の白鳥と化して此地に到りたるを以て、此處に社殿を造營せられたと傳へられ、出雲大社に亞ぐ古制である。神域廣大一萬三千坪に餘り、老木鬱蒼として森嚴の氣を深めてゐる。大東亞戰爭に入つてより武運長久を祈願する賽者連日踵を接するばかりである。寫眞はその本殿である。

大東亞の解放

（一）フイリツピンの明朗化

過去半世紀に亘る暴慢アメリカの羈絆から、不幸な民族を解放せんとする皇軍のフイリツピン上陸作戰は、疾風迅雷的に着々戰果を擧げ來り、既に皇軍の眞意を諒解し是に滿腔の感謝を捧ぐる比島人は、大東亞民族共榮の歡びに早くも手の舞ひ足の踏むところを知らない有樣である。寫眞①日章旗をつけて市中を走るマニラの乘合馬車②我が勇士に果物を贈るマニラ娘。③皇軍より米の配給を受けて感激するフイリツピン人。④赫燿と照る白日の下、我が勇士のためにフイリツピンの娘達が得意の舞踊を見せてゐる和やかな光景である。

（以上寫眞　陸軍省檢閲濟）

大東亞の解放

（二）マレーとビルマ住民の歡喜

人面獸心の米英を撃攘して、亞細亞人の手に亞細亞を取戻す我が聖戰の前に、敵の牙城は次ぎ〳〵に崩壞し、百年恨みの桎梏に責めさいなまれた民族は、皇軍將士の雄姿を仰ぎ見て救ひの神の如く崇め尊んでゐるのである。

寫眞①我勇士に美事に熟れたパイナップルを贈るマレーの住民。②マレー戰線イポーにて、住民の子供等に相撲を取らして興ずる勇士達のいとも朗らかな風景。③ビルマのモールメインにて、皇軍の入城と共に續々我家に歸つてくる住民達。④皇軍勇士に鷄と家鴨を贈つて感謝の意を表するモールメインの市民達である。

（以上寫眞　陸軍省檢閲濟）

不落の金城シンガポール遂に陥る

①

②

イギリスが領有すること既に百二十年、天然の要害に加ふるに巨億の資金を投じ、あらゆる犠牲を拂つて築造したるシンガポールの大要塞も、大御稜威の下、萬死を期して勇戰敢鬪する我が皇軍の威力の前には、朝日を浴びる霜の如く、片端より崩壞潰滅し、總攻擊僅か七日間にして、不落を誇りし金城も遂に攻略せらるゝに至り、イギリス東亞侵略の大野望も、玆に全く破摧せらるるに至つた寫眞①はシンガポールの心臟部で、中央建物はヴイクトリヤ・メモリアル・ホール、左端はシンガポール總督政廳。②は同市街全景である。

激戦直後の惨憺たる光景と
敵戦死者を弔ふ我が勇士

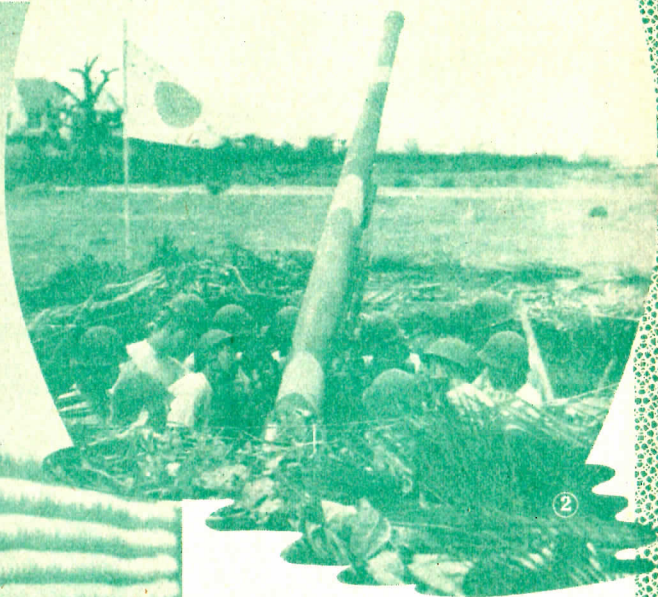
②

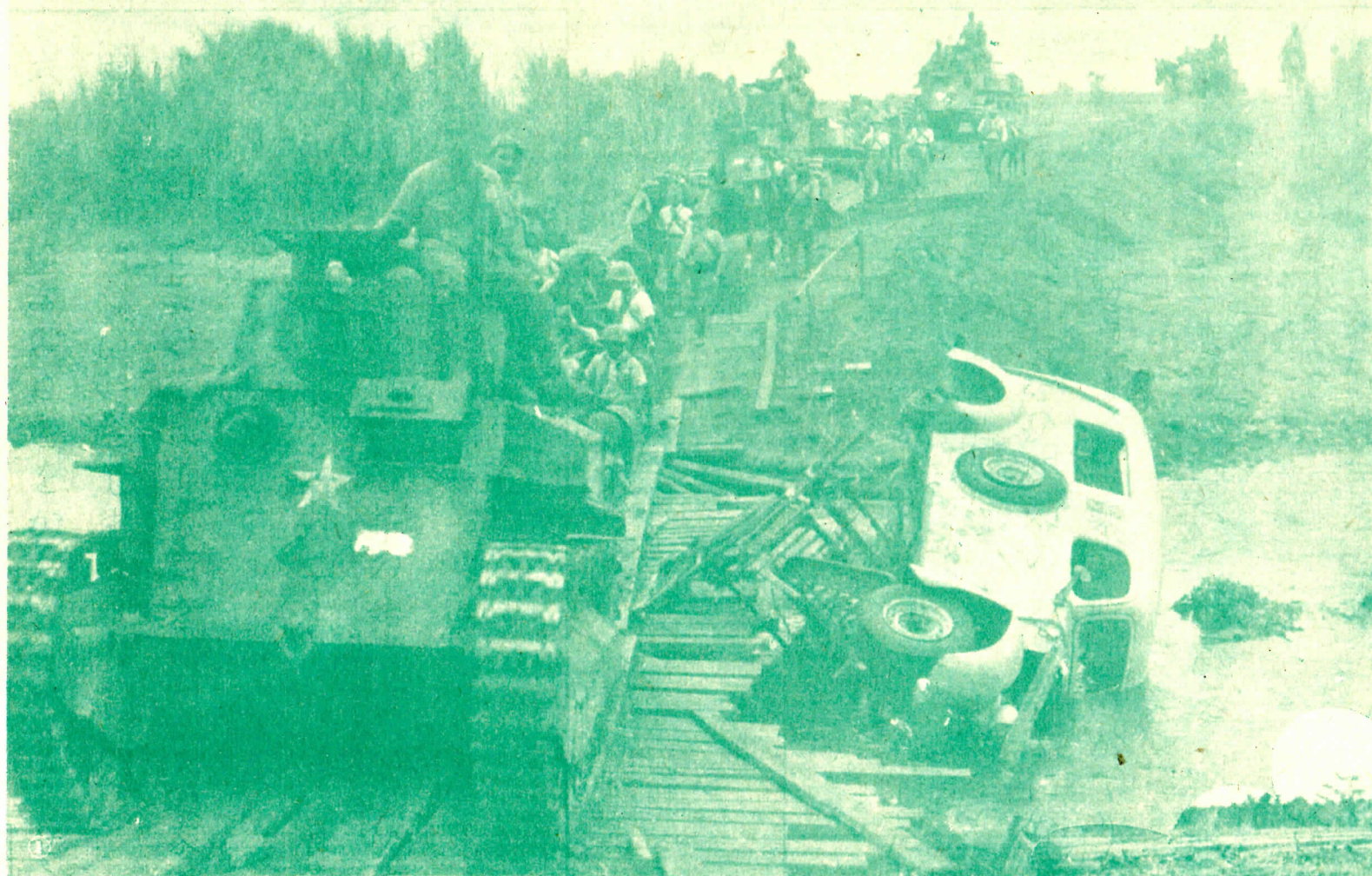
①

新嘉坡は西に印度洋と東に太平洋を聯繋する唯一の大關門で、更に南には蘭印、濠洲等と連絡する一大要衝であり、是が失陷は直ちに以て英本國の没落をも意味するものであるから、その防衛に當らんとする英軍は、皇軍怒濤の進撃に對し至るところに必死の抵抗を試みたのであつたが、而も連戦連敗、殘軍辛うじて新嘉坡島に逃げ込むまでは約その二個師團が、マレー半島上の戦場に骸をさらしたのであつた。寫眞①はジョホール・バル附近に於ける彼我兩軍激戦後の光景で、敵軍の慘めな敗退振りが、是に依ても略々想像出來るであらう。②は同じくマレー戦線にて敵戦死者の遺骸を懇ろに葬り是を弔ふ我勇士達である。**（以上寫眞　陸軍省檢閲濟）**

皇軍縱横の活躍を試みるフイリツピンバタアン半島 —(二)—

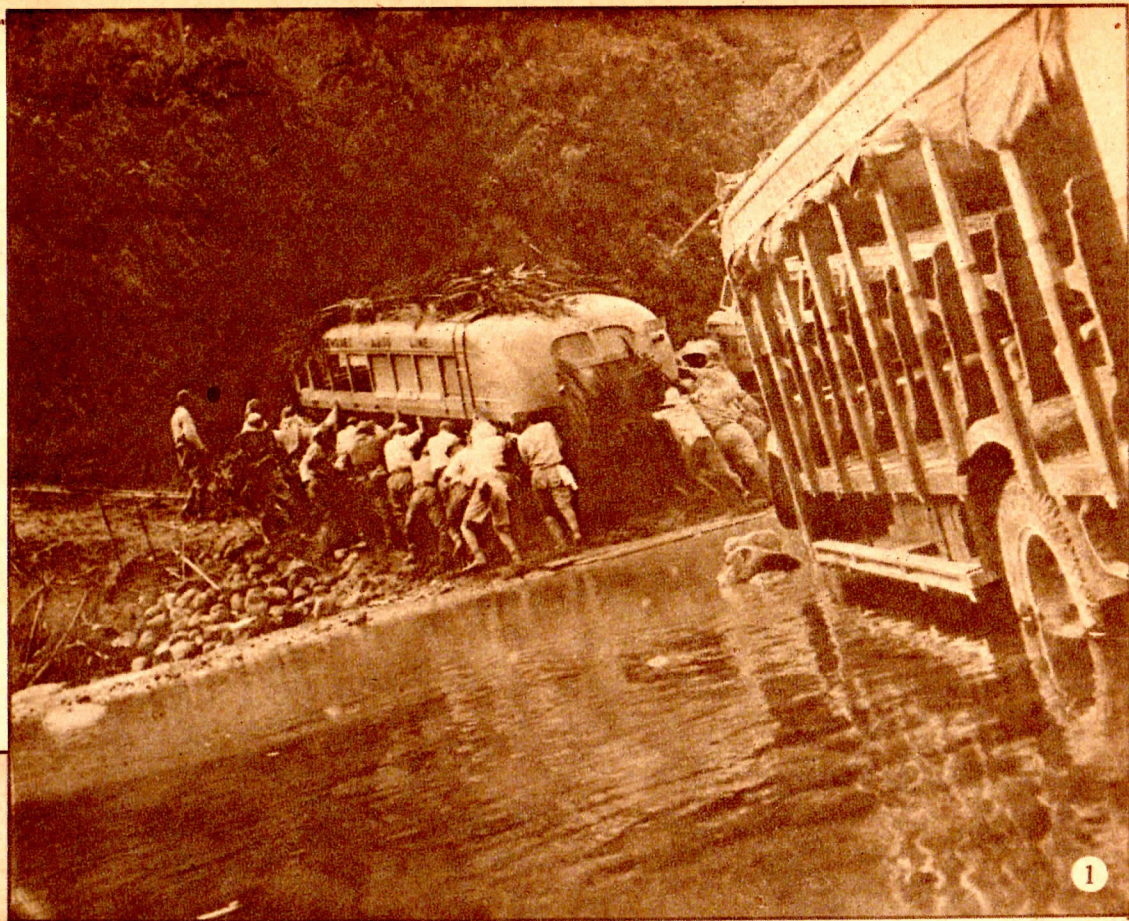
（鹵獲せる爆彈の山と我が高射砲陣地）

ABCD包圍陣を强化して、じり押しに我が帝國の息の根を止め、やがて亞細亞侵略の野望を達成せんと企てながら、その一方には勇猛果敢なる皇軍の進攻に怯えて、鐵壁宛らの防備を固めつつありたる米領フイリツピンは、我軍が宣戰の大詔渙發と同時に水もたまらぬ早業を以て敵前上陸を敢行して以來、早くもその首都マニラは陷り、敵が金城湯池と恃むその戰略的最要衝バタアン半島一帶の地も既に皇軍の蹂躙するところとなり、全島の制壓今や目睫の間に迫つた。寫眞①はバタアン半島〇〇に於て我軍の鹵獲せる敵爆彈の山。②は同じくバタアン半島某地點に於て、敵機來襲に備ふる我が高射砲陣地。（以上寫眞陸軍省檢閲濟）

皇軍縱横の活躍を試みる
フイリツピンバタアン半島
—（一）—

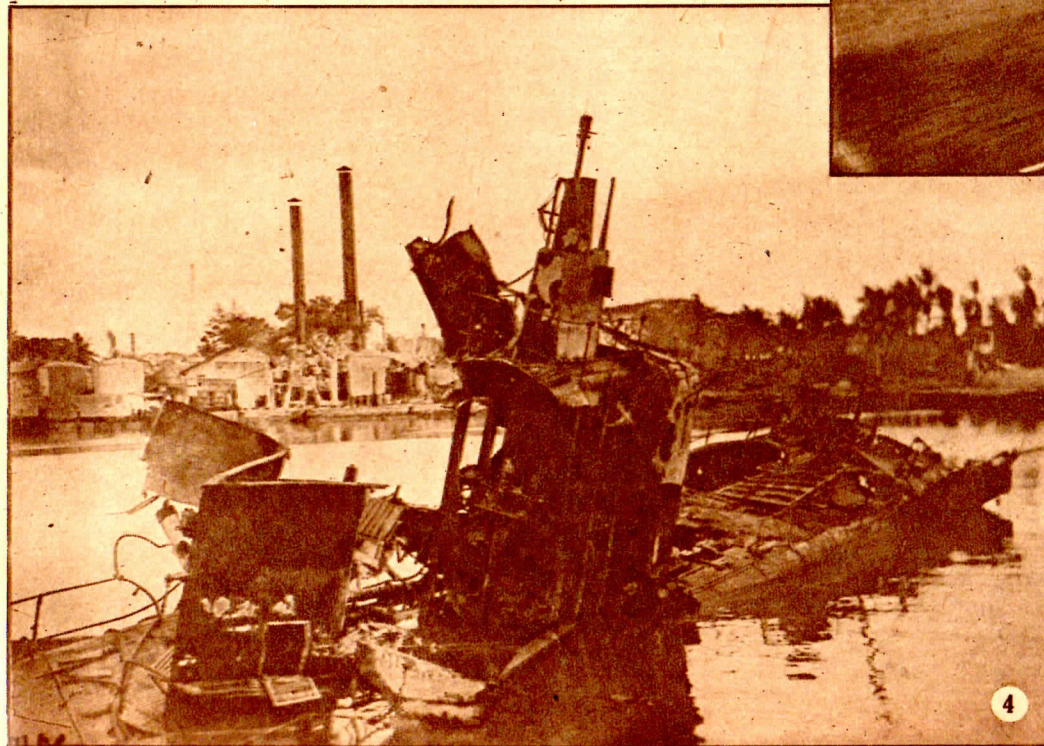
（殘敵を急追する猛牛部隊と、潰滅したる敵の第一線陣地）

アメリカがスペインより奪取してより、半世紀に近く、あらゆる殘忍惡虐の行爲を敢てして、横奪搾取の限りを盡したるフイリツピンは、更に又東亞侵略の魔手を伸ばさんとする彼等が飽なき野望の策源地として金城鐵壁の足掛りを堅めつつあつたのであるが、皇師一たび海を渡つて壯絶鬼神も避くる敵前上陸の壯擧を敢行するや、さしも難攻不落を誇りたる敵の堅壘相次いで潰滅し、全フイリツピンが擧げて皇軍の足下に蹂躙せらるるの日も、早や既に時の問題となるに至つた。寫眞の①はバタアン半島の某地點に於て敵が周章狼狽して退却したる後、驀進急追する我が猛牛部隊。②は同じくバタアン半島の敵第一線陣地が、我軍の猛攻擊に脆くも潰へ、敵が算を亂して敗走したる跡の見るも無殘な狼狽振りである。（以上寫眞　陸軍省檢閲濟）

捕虜となつたマレーの印度兵

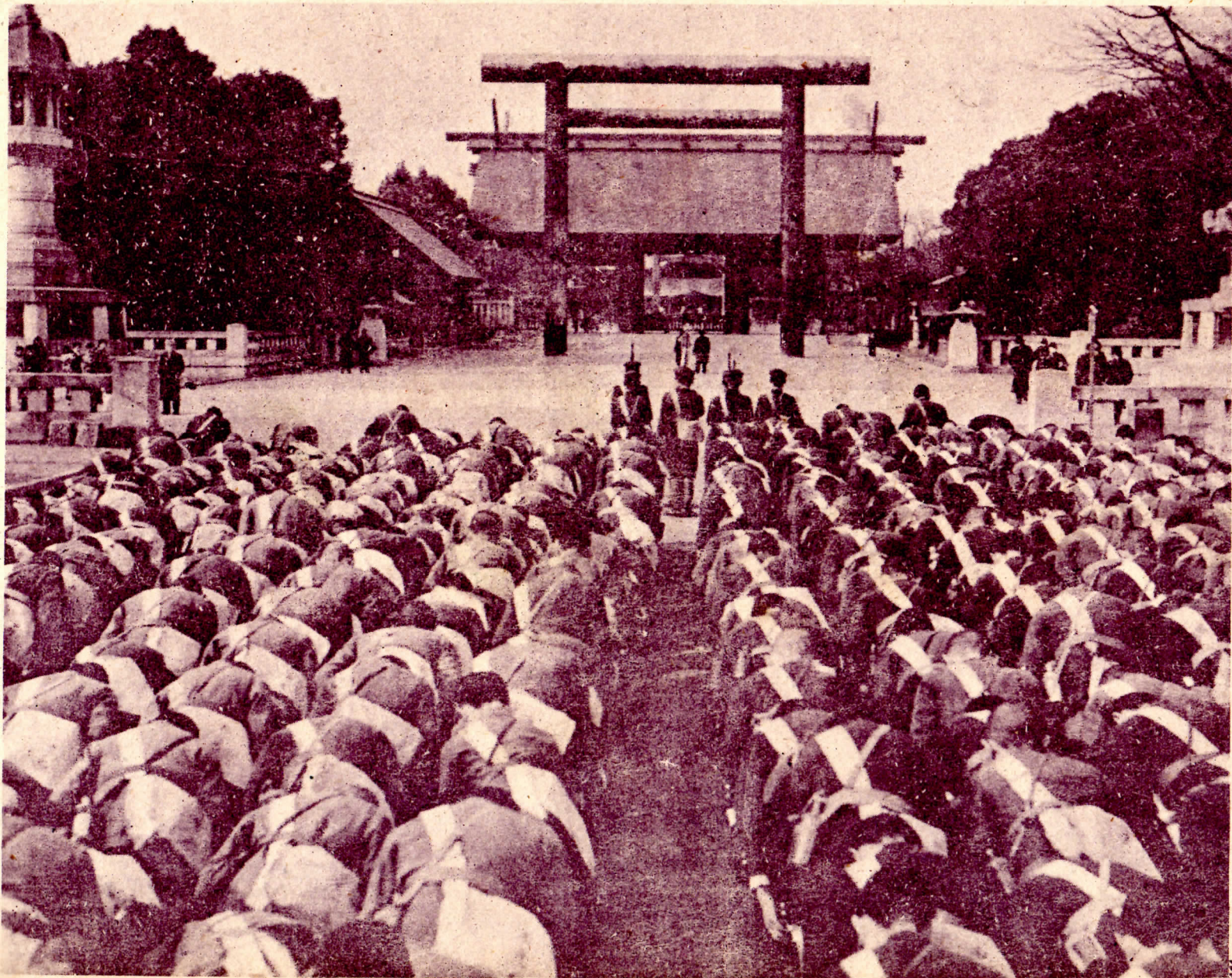
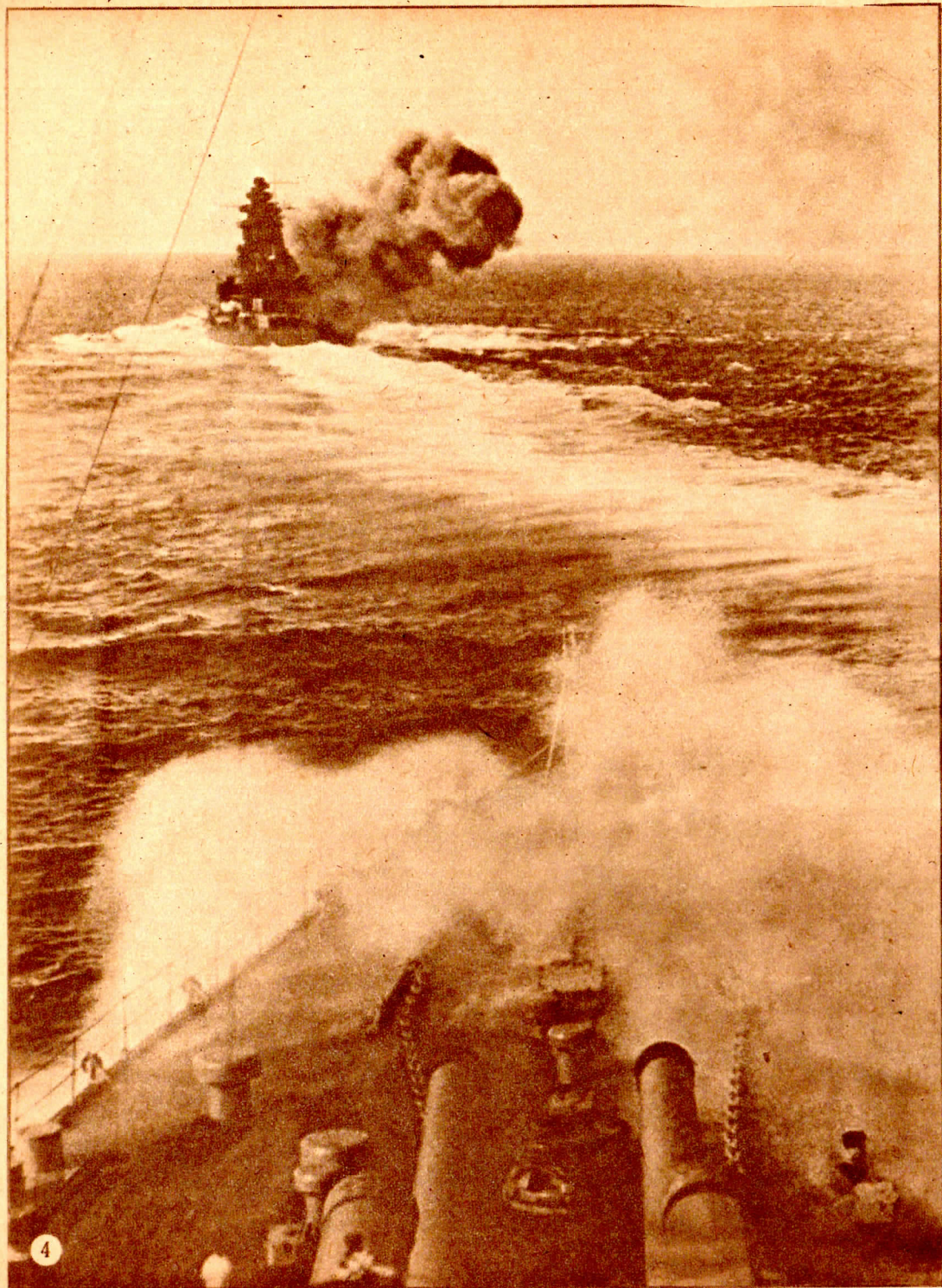
（その數合計八千に上る）

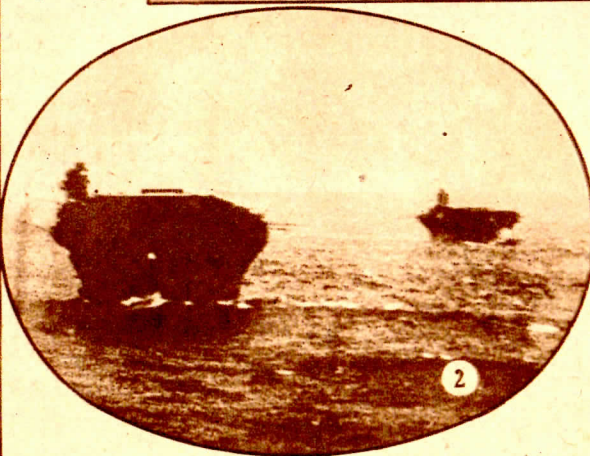
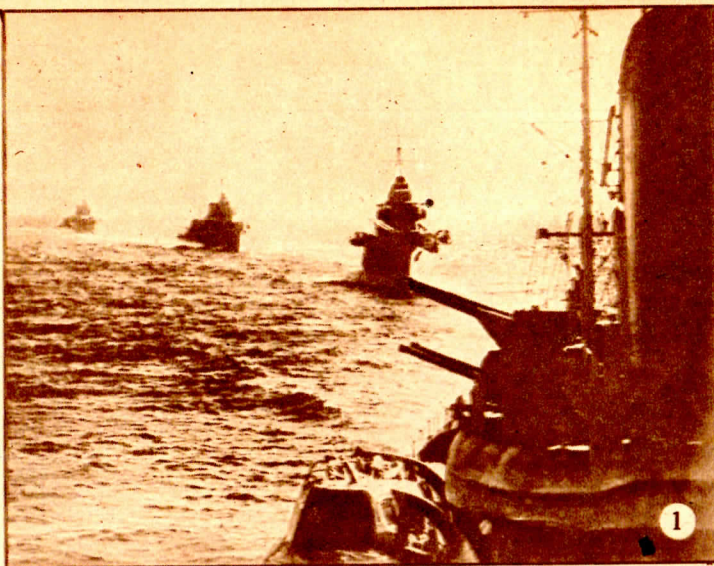
昨年十二月八日、北部マレー東海岸に上陸して以來、赤道直下の猛暑を克服し、涯しなきジャングルを乘越えて、進撃又進撃を續けた る皇軍の精鋭は、上陸以來五十五日、蜿蜒千百キロを縦斷して、一月三十一日同半島の南端ジヨホール・バルに突入した此間主力の交戰實に九十二回に及び、俘虜約八千、遺棄死體約五千概ね二個師團の敵兵力を潰滅せしめた。寫眞は我軍に捕虜となつた英軍印度兵である。（陸軍省檢閲濟）

早くも比島を制壓

（全比島占領は目睫の間）

既に比律賓の首都マニラを攻略したる皇軍は一方バタアン半島方面に於ても日々戰果を擴大し、全比律賓が皇軍の手に歸するのも今や全く時間の問題と見做さるゝに至つた。寫眞①比島戰線に於て難行軍を續くる我が自動車部隊。②我が兵隊さんに手傳つて飯盒を洗ふフイリツピンの娘達。③バタアン半島戰線に於て軍旗を捧じて進擊する皇軍部隊。（以上陸軍省檢閲濟）④マニラの近郊カヴイテ軍港に於て我が荒鷲の猛爆に擊破された敵潜水艦の醜狀。（海軍省檢閲濟乙第十七號、三五四）

◇◇◇古英雄うたかがみ◇◇◇（二）〝楠正成〟（年英筆）

新嘉坡突入報告参拜

二月十一日紀元の佳節に、皇軍部隊はシンガポール市街に突入、一大殲滅戰を展開した。寫眞は此の快報に接した都下中學生の一團、靖國神社に参拜して護國の英靈に報告感謝の誠を捧げつゝある有樣。

勳は高し帝國海軍

（太平洋は我が獨り舞臺）

大東亞戰開始以來、ハワイ海戰、マレー沖海戰及び二月四日のジヤバ沖海戰等に於て、米太平洋艦隊、英東洋艦隊の夫々の主力艦、及び米蘭聯合艦隊の主力を撃滅したる帝國海軍並に海軍航空部隊の萬代不磨の武勳に依て、今や我方は完全に太平洋周邊の制空制海兩權を掌握し、大東亞戰爭の第二次段階作戰を益々容易ならしむることゝなつた。

寫眞①は西南太平洋に堂々編隊航行中の我が驅逐艦隊（海軍省提供）②ハワイ海戰直前、布哇へ布哇へと突進する我が航空母艦（海軍省檢閲濟乙第十七號五五二）③出撃の命令下り、勇躍部署に就く海の荒鷲。（海軍省檢閲濟乙第十七號五五〇）④太平洋上、巨彈を放つ我主力艦隊の偉容である。（海軍省提供）

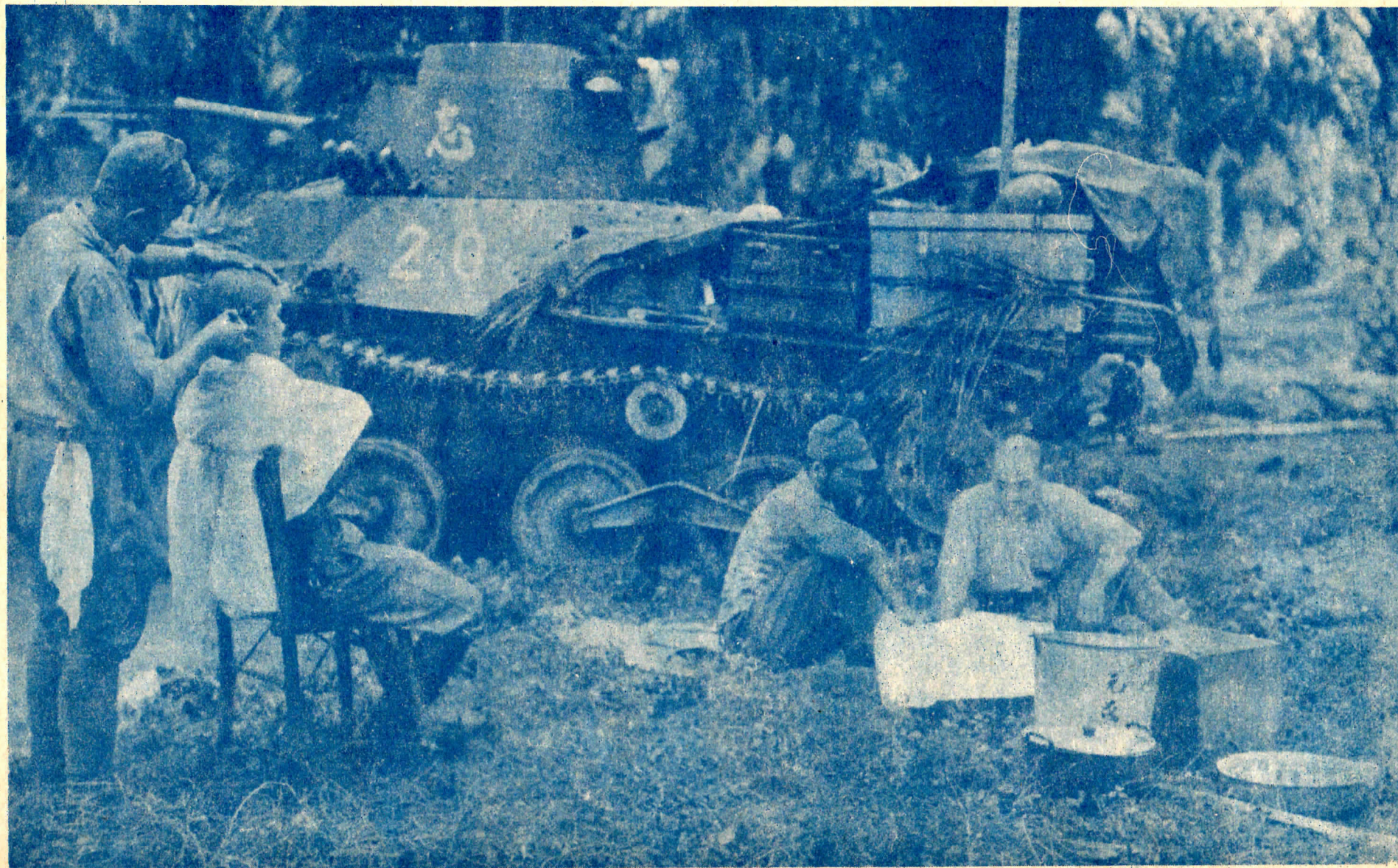
皇軍ビルマに活躍す

（ラングーンの占領近し）

一月二十一日、**ミヤワジ**附近に於て泰緬國境の山岳地帯を突破したる皇軍は、連日の惡天候と、嶮難極まる山地を克服して猛進撃を續け、陸の荒鷲又是に呼應して、敵の據點を次々に爆碎、一月三十一日早くもその牙城と恃む**モールメン**を攻略、首都**ラングーン**を指呼の間に制壓するに至つた。寫眞①は象の背に跨り**ビルマ**領**ダバオイ**に進撃する皇軍〇〇部隊。②は〇〇附近の**ゴム**林に無數に隠匿せられたる敵の**ガソリン**罐。③**ビルマ**〇〇河の上流を渡河する我が牛車部隊。④**ジャングル**を進撃して圖らずも發見したる瀧の水に、軍旅の渇を癒やす兵と馬である。（以上陸軍省檢閲濟）

◆◆武士の嗜み◆◆ 小休止を利用して散髪する勇士

（マレー戦線にて）　（陸軍省検閲済）

世界日誌

自昭和十七年一月十六日
至昭和十七年二月十五日

◇一月◇

(十六日) 本日大本營の發表に依れば去る一月十日までに於ける帝國海軍の擊沈拿捕せる敵船舶の累計は、擊沈(潜水艦に依るもの)二十隻、十三萬二千トン、(飛行機に依るもの)十隻五萬七千トン、(右以外に依るもの)一隻、二千トン、拿捕七十八隻、十七萬一千トン、總計百九隻、三十六萬二千トンなり。

(十七日) アメリカに渡航、ルーズヴェルト大統領と會談中なりし、イギリス首相チャーチルは軍需相ビーヴァーブルック、海軍軍令部長パウンド、空軍參謀總長ポータル等を帶同して本日英本土プリマス軍港に歸着したり。

(十八日) 本日新たに日獨伊三國間の軍事協定締結せられ、ベルリンに於て右三國統帥部代表者に依り調印を了したり。因に右協定は主として三國共通の敵に對する三國協同の作戰指導の要綱を決定せるものなり。

(十九日) イギリス當局は本日、豫て親英的政治性格の保持者として知られたるビルマ首相ウー・ソーの逮捕を發表したり。右の事實は英國のビルマ人に對する全面的不信行爲、裏切行爲として認めらる。

(二十日) 帝國昭和十七年度一般會計歲出豫算は、八十六億九千八百萬圓の巨額に上る。

(廿一日) 本日、第七十九帝國議會休會明けの劈頭、東條內閣總理大臣は、大東亞戰爭指導の要諦に言及し、大東亞に於ける戰略據點を確保すると共に重要資源地域を我が管制下に收めて帝國の戰力を擴充しつつ獨伊兩國と協力呼應して積極的作戰を展開し、米英兩國を屈服せしむるまで戰ひ拔く決意を述べたり。

(廿二日) 目下ソ聯とイランとの國境方面に於て、イラン地區に鐵道が建設せられたり、同時に又同國境に沿ひ要塞線も建設せられつつありとの報あり。

(廿三日) 帝國陸海軍部隊は、緊密なる協同の下に、本日未明ニューギニア東方ニューブリテン島ラバウル附近の上陸に成功し同時に又帝國海軍特別陸戰隊は本日未明ニューアイルランド島カビエングの敵前上陸に成功せり。

(廿四日) 昭和十七年度臨時軍事費豫算は既に第七十八臨時議會に於て協賛を經たるものに、更に本第七十九議會に提出せらるべき追加豫算を加へ、その總額は實に四百七十億九千七百六十七萬圓の巨額に達す。

(廿五日) タイ國政府は本日正午、米英兩國に對して宣戰を布告し、同時にタイ、ビルマ國境に於て嚴然國境守備に就きゐたるタイ國數十萬の軍隊に一齊に進擊命令を下したり。

(廿六日) 本日までマレー戰線に於て、我軍に投降し來りたるイギリス軍は將校二百名、兵五千名に上る。

(廿七日) 本日帝國驅逐艦二隻は、マレー東岸エンダウ沖に於て、シンガポールを出發、我が輸送船團攻擊を企圖したるイギリス驅逐艦サネット及びバンパイヤ二隻と遭遇、直ちに是を攻擊、二對二の同等勢力の驅逐艦戰を展開し、敵艦サネットを擊沈、バンパイヤーを逃亡せしめたり。

(廿八日) 米國大統領ルーズヴェルトは、本日新聞記者團と會見、米國遠征軍八個乃至十個師團が既に海外に派遣せられたる旨述べたり。

(廿九日) スペインに達したる報道に依れば、米國のハワイ海戰慘敗調査委員會に於ては、當面の責任者たる海軍大將キンメルに對しては死刑を、空軍司令官ショート以下には夫々體刑を以て臨むことに決したりと。

(三十日) ヒットラー獨逸總統は、本日ベルリンに於て開催せられたるナチス政權掌握記念日に於て、二時間に亘る大獅子吼を試み、大東亞戰爭に於ける、日本の赫々たる戰果を賞讃し、是に對して深甚なる感謝を捧ぐる旨を述べたり。

(卅一日) マレー半島進擊中なりし帝國陸軍部隊は、本日同半島の最南端、シンガポール島の對岸ジョホールバルに突入、忽ち是を占領したり。

◇二月◇

(一日) 本日未明、航空母艦、甲巡、驅逐艦より成る敵部隊は我がマーシャル群島方面に出現したるも、我は直ちに是を反擊擊退せり、本戰鬪に於て敵甲巡一隻を爆擊大火災を生ぜしめ、敵飛行機十一機を擊墜したり。

(二日) チリー大統領選擧に於て、ファン・アントニオ・リオス氏は二十五萬票を獲得當選したり、次點はイバニエス將軍の二十萬票なり。

(三日) 帝國陸軍は南方經營に軍政顧問を新設することとなり永田秀次郎、村田省藏、砂田重政、德川義親の四氏を起用、右の內、永田、村田、砂田三氏に對し特に親任官の待遇を賜ふ。

(四日) 本日大本營の發表に依れば、帝國陸軍部隊は去る一月二十四日、北部英領ボルネオの要衝タワオを完全に占領し、邦人五百八十七名を救出せり。

(五日) 本日、米國布哇陸軍司令官エモンズ中將は、將來萬一日本軍が布哇上陸を企圖したる場合、指定地域に居住する全婦女子及び十五歲以下の男子兒童は一般避難令に從ひ、食糧その他を携帶し、直ちに奧地の高山に避難するやう發令したり。

(六日) 本日、大本營の發表に依れば、去る二月四日帝國海軍航空部隊は、ジャバ海に於て米蘭聯合艦隊主力を發見、是に勇猛果敢なる爆擊を加へ、忽ちにして敵巡洋艦三隻を轟沈破したり。因に本海戰をジャバ沖海戰と呼稱す。

(七日) 大本營の發表に依れば、帝國陸軍部隊の開戰以來二月六日までに判明せる綜合戰果は敵機の擊墜破九百十四機、俘虜敵兵三萬を突破し、鹵獲戰車(裝甲車を含む)二百二十四輛、火砲五百八門、又帝國海軍の一月三十一日までの戰果中確實に擊沈したる敵潜水艦累計二十九隻、敵船舶累計五十二隻(三十

(八日) 現ポルトガル大統領カルモナ元帥は、本日の大統領選擧の結果四度選任せられたり。

(九日) マレー方面活躍中の帝國陸軍部隊は、本日午前零時十六分ジョホール水道の渡過に成功し、シンガポール島の敵前上陸に成功、猛烈なる攻擊を開始したり。

(十日) 蔣介石は飛行機に依て印度に飛來し、本日アラハバードに於て國民會議派の巨頭ネールと會談したり。

(十一日) シンガポール島要塞猛攻中の帝國陸軍部隊は、本日紀元の佳節を迎へ、全軍の士氣愈々高揚、同島の最高地點ブキテマの要衝を奪取し、その先遣部隊は早くも既にシンガポール市の一角に突入したり。

(十二日) 本日ドヴァー海峽に於て獨英兩艦隊の間に一大激戰展開せられ、艦隊掩護の獨空軍は、英機四十三機を擊墜したり

(十三日) シンガポールに於ける我が攻擊愈々激烈を極め、イギリス軍は今や總崩れとなり海上脫出を企つるもの多く、我が海軍部隊は是を海上に待構へ、一兵も漏らさじと旺んに猛爆を加へつつあり。

(十四日) 帝國海軍部隊は、本日拂曉イギリス東洋艦隊の根據地たるシンガポール島セレター軍港に進入し、イギリス海軍鎭守府の屋上高く海軍旗を掲揚したり。

(十五日) 帝國陸軍部隊は、本日午後七時五十分、シンガポール島要塞の敵軍をして、無條件降伏せしめ、イギリスが不落を誇りたるシンガポールは玆に皇軍の占領することとなりたり。

歷史寫眞第三百四十六號(每月一回一日發行)
大正二年十二月一日第三種郵便物認可
昭和十七年二月二十五日印刷納本
昭和十七年三月一日發行

編輯發行兼印刷人 東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚町一二三〇 多田鐵雄
印刷所 東京市小石川區久堅町一〇八 共同印刷株式會社
發行所 東京市神田區鎌倉町八番地ノ二 歷史寫眞會 (電話神田六五五七)(振替東京三四八二九)
配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

定價 金六拾錢